

令和6年第8回定例教育委員会

令和6年8月30日（金）午後2時00分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	教育長 委員 委員 委員 委員	黒川 淳司 須田 壽美江 麓 美絵 新館 忠義 兼子 弘 詔	説明員	教育部長 教育部次長 学校教育支援室長 総務課長 総務課主幹 学校教育課長 学校教育課参事 教育支援課長 給食センター長 生涯学習課長 生涯学習課主幹 スポーツ課長 情報図書館長 郷土資料館長 郷土資料館参事 総務課総務係長	佐藤 学 新山 千穂 堂前 敦 山崎 浩克 鎌田 和仁 稲田 征己 五十川 範明 水口 武 三浦 洋 田中 紀克 星野 真 松井 正行 表 誠 堀井 修 兼平 一志 伊藤 麻美
			記録員 傍聴者	なし	

1 報告事項

- (1) 令和6年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果について
- (2) 江別市立学校給食センターの学校給食提供事業に関するサウンディング型市場調査の結果について
- (3) セラミックアートセンター開館30周年記念 鈴木藏の志野展の開催結果について
- (4) 令和6年度青少年キャンプ村「こんがり王国」の実施結果について

2 審議事項

- (1) 令和6年議案第37号
令和7年度に使用する小学校用教科用図書の採択について
- (2) 令和6年議案第38号
令和7年度に使用する中学校用教科用図書の採択について
- (3) 令和6年議案第39号
令和7年度に使用する小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について
- (4) 令和6年議案第40号
江別市スポーツ推進審議会委員の補欠委員の委嘱について

3 その他

- 次回教育委員会予定案件について
- 令和6年第9回定例教育委員会の日程について

会 議 録	
黒川教育長	(開会) ただいまから、令和6年第8回定例教育委員会を開会いたします。 本日の議事日程は、配付のとおりであります。 会議に先立ち、本日の会議録署名人を新館委員にお願いいたします。 また、本日の審議事項であります、議案第37号から議案第39号までの3件の議案につきましては、関連がありますことから、一括説明、一括質疑、一括承認を踏む形で進めてよろしいでしょうか。 (異議なし) そのように確認いたします。 それでは、議事に入ります。 1の報告事項(1) 令和6年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果についての報告を求めます。
鎌田教育政策 担当主幹	鎌田教育政策担当主幹をお願いします。 報告事項(1) 令和6年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果について、ご報告いたします。 学校一斉公開は、地域に開かれた学校づくりの促進により、地域や保護者等に学校への理解を深めていただくとともに、学校と地域の連携協力体制の強化を図るため、平成14年度から年に2回実施してきたものでございます。 本年度は、6月6日(木)に1回目の学校一斉公開を開催し、無事終了いたしました。 本日は、見学者からのアンケートの集計結果をご報告するものでございます。 資料をご覧ください。まず、1ページ上段に記載しておりますが、今回の見学者は、市内の公立小中学校25校と、立命館慶祥中学校を合わせて、延べ1,797人であり、アンケートの回答者数は1,145人、回答率は64%でした。 なお、全体の見学者数は、昨年6月の実施時より233人増加しております。 次に、アンケートの集計結果のうち主なものについて、ご説明いたします。 問1「この学校にご自分の家族はいますか。」について、「いる」と回答した人は全体で50%、小学校、中学校ともに、昨年6月の実施時よりも減少しており、保護者以外の地域の皆様の見学の割合が増加しております。 また、問2「今回、学校一斉公開に来られたのは。」について、「初めて」と回答した人は全体で43%、小学校、中学校ともに、昨年よりも減少しておりますが、この数値は「2回目以上」の見学者が大きく増加したことによるものとなっております。 2ページをご覧ください。問4「学校一斉公開は、今後も必要と思いますか。」、問5「機会があれば今後も学校に来たいと思いますか。」について、「思う」と回答した人の割合が、小学校、中学校ともに、ほぼ100%となっており、学校への関心の高さがうかがえます。 問6「学校は地域に開かれていると思いますか。」につきましても、「開かれていると思う」と答えた方の割合が9割以上と、高い結果になっております。 3ページをご覧ください。問9の「児童・生徒の様子はいかがでしたか。」については、「大変よい」及び「よい」の割合が合わせて9割以上となっており、見学者の多くが、江別市の児童生徒に好印象を持ったことがうかがえます。 4ページ及び5ページには、自由記載欄における見学者の感想等について、回答数と、主な感想等を掲載しております。児童・生徒関係では、「みんな元気に挨拶してくれて、うれしかった」、施設・設備関係では、「古い校舎だが、きれいに使われていると思う。トイレもきれいだった」、5ページの学校一斉公開関係では、「子供の様子や学校内の様子が見られてうれしい。これからも続けてほしい」といった感想が多く見られました。 また、校舎の老朽化の指摘、エアコンの設置など、市の教育行政全般に係る意見・要望等や、学校一斉公開の運営に係る意見等についても記載がありました。 なお、別冊で、見学者の感想等を取りまとめたものを掲載しておりますので、ご参照ください。 最後に、5ページ下段の「3見学者の感想等を踏まえた今後の対応について」をご覧ください。総務課では、昨年第2回のアンケート結果の公表から、アンケート結果と併せて今後の対応をホームページで公表しております。

	まず、（１）市の教育行政全般に係る意見・要望に対しては、各学校及び関係部署に伝達し、今後の市の教育行政に生かしていく旨、総括的に回答いたします。 また、学校一斉公開の運営等に係る要望等のうち、本事業の改善策として総務課が直に取り組みめるものとして、（２）アの校内の掲示物に、児童生徒の個人情報があるものがある。誰でも来校できるときは隠してほしい旨の要望に対しては、各学校に対し、校内の掲示物の個人情報の取扱いに十分注意するよう依頼すること、イの授業内容が見えず、声も聞こえない残念な教室があった旨の意見に対しては、各学校に対し、見学者が授業見学しやすいように教室のドアを開けておくなど、可能な限り配慮するよう依頼すること、この２点を回答いたします。
黒川教育長	以上です。 ただいま報告のありました、令和６年度第１回学校一斉公開アンケート集計結果について、質問等がございましたらお受けします。
須田委員	須田委員お願いします。 来校者が昨年度よりもたくさん増えていて、とても良かったと思いました。 皆さんの感想を読ませていただいて、今年は特別支援学級に対する意見がすごく増えたのではないかと思います。特別支援学級の先生方の指導に対しての意見も多かったので、これについて、どう思われているのかお聞かせ願います。
黒川教育長 稲田課長	稲田学校教育課長お願いします。 特別支援学級の指導に関するご意見についてでございますけれども、こういったご意見があるということは、当該学校に対して教職員係から情報提供しております。特別支援学級の指導に関しましては、一人ひとりのお子さんの状況ですとか、特性ですとか、あるいは、先生とお子さんの日常の関わり合いの在り方など全体を見て判断すべきものと考えますので、こういった声がありますと学校に伝えられますけれども、私どもの方からすぐに、これは不適切だとか、改めるようにというような指導はしておりません。 あくまでも第三者の方から見て、こういった見方をされているということは、事実として学校にお伝えしているところでございます。
黒川教育長	以上です。 その他、質問はございますか。
新館委員	新館委員お願いします。 ５ページの下の見学者の感想の所ですけれども、校内の掲示物に児童生徒の個人情報があるものとありますけれども、私も行ってきましたけれども、さほどそういったものが目につかなかったというか、気にならなかったのですが、どのようなものが掲示されていたのでしょうか。
黒川教育長 鎌田教育政策 担当主幹 新館委員 黒川教育長	鎌田教育政策担当主幹お願いします。 学校に確認しましたところ、地域の地図に、児童生徒の居住地が記されていたと聞いています。 わかりました。
黒川教育長	その他、質問はございますか。
須田委員	須田委員お願いします。 先ほどの５ページの下の教室のドアの件ですけれども、私も実際に学校に行ってみて、教室のドアが閉まっていて、入っていいのかな、どうなのかなと思ったところがいくつかありました。それで、先生の声が聞こえないとか、いろいろなことがありますが、わざと閉めているのかなと解釈して、そこには入らず、違う教室を見ましたけれども、できれば全部開けておいていただいた方が、見やすいと感じました。
黒川教育長	その他ございますか。 私から１点質問させていただきますが、この５ページの３、「意見等を踏まえた今後の対応について」の（１）と（２）は、総務課として回答できるものとして記載してあって、これだけがホームページに載る。先ほどの稲田課長が答えたような、そういう内容は、他の課なのでホームページには載らない、ということになるのでしょうか。
鎌田教育政策 担当主幹	鎌田教育政策担当主幹お願いします。 学校が特定される恐れがあることから、個別具体の回答などは掲載を控えております。 学校一斉公開の運営に関し、今後改善が必要な点などの全体的な話については、ホームページに載せても差し支えないと考えております。

黒川教育長 鎌田教育政策 担当主幹 黒川教育長	その他の個別具体的話については、関係部署から、また、総務課からも各学校にフィードバックして、改善を図っていききたいと思います。 わかりました。 この２点については、学校にもそのように依頼していきますよ、という記載になっていますが、これは、次の校長会議で依頼するという意味でしょうか。 鎌田教育政策担当主幹お願いします。 こちらの依頼については、１０月実施の第２回の学校長宛て依頼文書に記載したいと考えています。 わかりました。 その他質問はございませんか。 （質疑終了） それでは、本報告について終了してよろしいですか。 （一同了承） 次に、報告事項（２）江別市立学校給食センターの学校給食提供事業に関するサウンディング型市場調査の結果についての報告を求めます。 三浦給食センター長お願いします。 報告事項（２）江別市立学校給食センターの学校給食提供事業に関するサウンディング型市場調査の結果について、ご報告いたします。 お手元の資料をご覧ください。 はじめに、「１概要」でございますが、これからも安全で安心な給食を安定的に提供し続けるために、検討委員会を設置し、当市が抱える課題を踏まえ、施設整備及び運営体制等について検討しているところでありますが、他自治体への視察等による情報収集のほか、民間活力を活用した場合の手法や効果について把握するため、サウンディング型市場調査を実施しました。 次に、「２調査概要」について、ご説明いたします。 調査対象は、市が所有するセンター調理場と対雁調理場２施設における、施設・設備の更新及び管理手法や給食提供手法などとしております。 対話に先立ち開催しました施設見学会には、センター調理場で１３社２６名、対雁調理場で１２社２４名の方にご参加いただきました。 民間事業者との対話は、６月２６日から７月２４日の間で実施しました。 次に、「３調査結果」でございますが、参加事業者数は、１４社で、調理業者、厨房業者、給食提供業者、コンサルタント業者、建設業者などと対話を行い、調査項目に対して、様々なご提案をいただきました。 調査項目として、「１給食の質の維持・向上、安全性の確保につながる取り組み」に対しては、HACCPの考え等に対応した衛生管理を行うことや調理従事者への指導、衛生研修を実施するなどが挙げられました。 「２食育や地産地消の推進など、児童生徒等の安心につながる取り組み」に対しては、地場産野菜の活用をPRし、施設整備をする際には、充実した見学スペースや調理体験コーナー等を設置することや、複合施設化や多機能化についても挙げられました。 ２ページをご覧ください。 「３老朽化が進んでいる施設・設備の更新及び管理手法」に対しては、「建て替えて１場化」することや、「２場運営を継続」することのメリットとデメリットを検討することや、元野幌のセンター調理場においても、大規模修繕や更新計画が必要となることなどが挙げられました。 「４人口減少に伴う人手不足の中でも、安定的に学校給食を提供する手法」に対しては、民間事業者へ調理委託することで、フレキシブルな雇用形態での人員確保をすることができ、その他、人員確保のため外国人技能実習生を雇用するなどの提案もありました。 「５最近のトレンドなど、学校給食を取り巻く状況に関する情報」に対しては、防災対策需要、非常食需要の拡大などが挙げられ、「６その他自由なアイデア」としては、厨房スタッフが児童生徒への食育・衛生教育するなどの意見がありました。 なお、調査結果の詳細につきましては、別紙資料をご覧ください。 次に、「４他自治体への視察状況」でございますが、サウンディング型市場調査による民間事業者からの情報収集と並行して、他自治体の運営体制や施設整備手法等を調査するた
--	--

	め、8つの市や町へ視察に行ってきました。 直営調理では、栄養教諭が、調理員に直接指示できることや食育を行う上で学校との連携のしやすさなどのメリットがあり、調理委託には、民間活力の活用により効率的な運営が行われ、費用削減や人員管理に係る事務負担の軽減が図られるなどのメリットがあることが把握できました。 最後に、「5今後の予定」でございますが、本調査及び他自治体への視察等により収集した情報を、8月27日に開催された「江別市学校給食の在り方検討委員会」に提供し、当市の学校給食の今後の方向性について、多様な視点で協議を進めているところであります。今後は、概ね1か月ごとに委員会を開催し、あり方について検討してまいります。 なお、本サウンディング型市場調査の結果は、市ホームページ等で公表を行います。 以上です。
黒川教育長	ただいま報告のありました、江別市立学校給食センターの学校給食提供事業に関するサウンディング型市場調査の結果について、質問等がございましたらお受けします。
兼子委員	兼子委員お願いします。 給食センターのサウンディング調査、大変お疲れ様でございます。 自分は幼少の頃、学校で食べる給食が非常に楽しみなものだったと記憶しているので、学校給食が非常に大切なものだという思いが今でもあります。 その中で、人員不足だとか、近年の科学の進歩によって、自動調理というものが注目されていると思います。先般、札幌でも一店舗、完全自動調理の中華料理屋さんがオープンしたことがテレビでも結構話題になっていました。実際にそれを導入することも検討事項として書いてあるのですけれども、実際にこれを導入して、人員削減であるとか、手間の省略可という部分に期待が持てるのではないかと私個人的には思うのですけれども、その辺りはどのようにお考えなのでしょうか。
黒川教育長 三浦給食センター長	三浦給食センター長お願いします。 給食センターの見直しに係る機械化を含めた人員削減についてですけれども、学校給食の調理業務は、通常、午前中に調理を行い、午後から食器等の洗浄を行うということになります。サウンディング型市場調査で伺った、業者からのご意見としては、午後の食器等の洗浄については機械化が徐々に進んできているが、午前の大量の数を調理することについては、機械化が進んでいなく、まだまだ人の確保が必要だと伺っています。仮に、午後の食器洗浄の部分に機械化したとしても、どうしても午前中に一定数の人が必要となり人手不足の解消に繋がらないことから、それらのことを踏まえて、今後あり方検討委員会で検討を進めていきたいと思っています。以上です。
黒川教育長 兼子委員 黒川教育長	兼子委員よろしいですか。 はい。引き続き調査をよろしくお願いいたします。 その他、質問等はございますか。
麓委員	麓委員お願いします。 質問ではないのですが、給食センターのことでいろいろと大きく変わっていくのかなということ、この資料を拝見して感じましたけれども、今小学生の子どもたちが給食を選択できるリザーブ給食がすごく人気で、子どもたちが楽しみにしているという話を、すごくよく聞くので、そういうところを残しつつ、進めていただけたらいいなと思っています。以上です。
黒川教育長 麓委員 黒川教育長	要望、意見ということでよろしいでしょうか。 はい。 それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承)
兼平セラミックアートセンター事業担当 参事	では次に、報告事項(3)セラミックアートセンター開館30周年記念 鈴木藏の志野展の開催結果についての報告を求めます。 兼平セラミックアートセンター事業担当参事お願いします。 報告事項(3)セラミックアートセンター開館30周年記念 鈴木藏の志野展の開催結果についてご報告いたします。 本展は6月15日から7月28日までの会期38日間で開催いたしました。 現役陶芸家として最長の人間国宝であり、本年12月に卒寿を迎える鈴木藏氏の初期から最新作までのほか、制作道具や直筆の書など127点を一堂に展示し、鈴木氏の軌跡

	を紹介いたしました。 (3)の観覧者数であります、一般518人、高大生6人、無料333人、計857人でした。 次に(4)の各種の関連事業は、国立工芸館館長の講演会、武者小路千家北海道官休会のご協力によるお茶会をはじめ、記載の事業を開催し、合計269人の方々にご参加いただきました。 なお、各事業の参加者数は、それぞれ記載のとおりであります。 観覧者アンケートでは、大変満足と満足とを合わせ92%を占め、事業を知った方法では、市広報とその他として「招待券をもらった」が最も多く、次いで新聞記事を見てとなりました。 主な感想は、「北海道で鈴木藏氏の作品を多く鑑賞できるとは大変感動です」、「見ごたえ十分」、「力強い作品と、常に研究して作り続けられている姿に感銘を受けた」など大変ご好評をいただきました。 最後に本展の開催結果を踏まえた課題等についてであります、SNS効果を期待し、チラシを作成しなかったため、展覧会の周知方法に課題があったと感じております。今回の課題につきましては、次回以降の展覧会の周知活動に活かしていきたいと考えております。 以上です。 ただいま報告のありました、セラミックアートセンター開館30周年記念 鈴木藏の志野展の開催結果について、質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし) 一点、私からお尋ねします。 (3)の数と(4)の数ですが、(4)は(3)の内数ですか。別数ですか。 兼平セラミックアートセンター事業担当参事お願いします。 (4)のそれぞれの事業参加者数は、それぞれの事業によって(3)に含まれるものもあれば、事業だけの数字になっているものもあります。例えば、講演会の50人の方は有料の518人の中に含まれていますが、お茶会の79人については、半分はご覧いただいたけれども、半分はお茶会のみという結果になっております。 その他質問等はございませんか。 須田委員お願いします。 この857人という人数は、当初の予定からみて、多いのでしょうか。少ないのでしょうか。 兼平セラミックアートセンター事業担当参事お願いします。 多いか少ないかで申しますと、大変残念な結果であります。 黒川教育長 その他質問はございますか。 (質疑終了) それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承) 次に、報告事項(4)令和6年度青少年キャンプ村「こんがり王国」の実施結果についての報告を求めます。 星野青少年担当主幹お願いします。 報告事項(4)「令和6年度青少年キャンプ村こんがり王国の実施結果について」ご報告いたします。 資料をご覧ください。 1開催概要であります、6月の定例教育委員会においてご説明しましたとおり、昨年度に引き続き、セラミックアートセンターの敷地を会場として、例年と同様に1泊2日の日程で5回実施しました。 2申込者数と、3参加決定人数及び参加者数であります、定員を1日80名、5日間で400名にて募集したところ、75組212名の申し込みがあり、都合により欠席者が出たものの、73組203名の参加がありました。 8月5日から10日までの期間中、時折、雨にあたることがありましたが、概ね天候に
黒川教育長	
兼平セラミックアートセンター事業担当参事	
須田委員	
黒川教育長 兼平セラミックアートセンター事業担当参事	
黒川教育長	
星野青少年担当主幹	

黒川教育長 麓委員 黒川教育長 星野青少年担当主幹 黒川教育長	恵まれ、大きな事故等もなく、無事に終了しております。 参考としまして、令和４年度と令和５年度の参加者数は記載のとおりです。 以上です。 ただいま報告のありました、令和６年度青少年キャンプ村「こんがり王国」の実施結果について、質問等がございましたらお受けします。 麓委員お願いします。 この期間、とても暑い日が続いたのではないかと思いますけれども、体調を崩す子などはいなかったのでしょうか。 星野青少年担当主幹お願いします。 おっしゃるとおり、暑い日もあって、蒸し暑い状況もありました。病院に行くような熱中症ですとか、そういう症状が出た参加者はいませんでした。 ただ、立ちっぱなしで少しつらいですとか、そういった程度はありましたけれども、それは、少し休んで回復する状況でした。以上です。 その他質問はございますか。 (質疑終了) それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承) 続いて、２の審議事項に入ります。 審議事項（１）令和６年議案第３７号 令和７年度に使用する小学校用教科用図書の採択について、（２）令和６年議案第３８号 令和７年度に使用する中学校用教科用図書の採択について、（３）令和６年議案第３９号 令和７年度に使用する小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について、以上３件について、一括説明を求めます。 稲田学校教育課長お願いします。 それでは、私から、審議事項（１）議案第３７号から（３）議案第３９号まで、一括してご説明いたします。 はじめに、教科書採択に至る流れをご説明させていただきます。 議案第３８号の資料１９ページをお開き願います。 教科用図書の採択につきましては、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第１４条、及び「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令」第１５条の規定により、採択した教科用図書の発行が行われないなど 特別な場合を除き、４年間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を 採択するものとされております。 参考資料の〔検定・採択・使用のスケジュール〕をご覧ください。 まず、小学校用教科用図書につきましては、令和４年度に文部科学省において検定が行われ、令和５年度に教育委員会で採択をしていただき、令和６年度から使用を開始しております。 次に、中学校用教科用図書につきましては、令和５年度に検定が行われ、今年度採択していただいたものを令和７年度から使用するものであります。 次に、資料２０ページをお開き願います。 参考資料「令和６年度 第１地区教科用図書採択日程」でございますが、江別市は石狩管内７市町村で構成する「第一地区教科用図書採択教育委員会協議会」に所属しており、協議会において教科用図書の採択協議、並びに選定が行われました。 今年度は、５月７日に第１回協議会が開催され、教科用図書の専門的な調査研究を行うための調査研究委員会の設置、調査研究委員候補の推薦等について協議され、６月７日に開催された第２回協議会で、調査研究委員が決定しております。 この調査研究委員会は、教科ごとに１３の小委員会を設置し、学識経験者、学校関係者から組織された総数７７名の委員で構成され、江別市からは、学識経験者５名、学校関係者１３名の計１８名が調査研究委員として委嘱されております。 また６月１７日から７月４日までの期間、採択候補となる検定済の教科書を市民に閲覧していただく「教科書展示会」を、江別市教育庁舎及び江別市情報図書館にて実施しております。 この間の来場者数は、合わせて５６名、寄せられたご意見等は３１件であり、いずれも前年度より増加しております。 なお、寄せられたご意見は、第３回協議会に反映し、全体で共有されており、採択協議
---	--

	の際の参考にされております。 次に、6月20日には、北海道教育委員会から採択参考資料の通知があり、こちらは協議会を通じて、調査研究委員会に資料提供されております。 次に、6月24日から調査研究委員会が始まり、委員会では、委員が広い視野から教科の専門的な意見を述べるなど、教科書についての調査研究を重ね、その結果を報告書として取りまとめ、協議会に報告されております。 そして、8月2日に開催されました第3回協議会において、令和7年度から使用する中学校用教科用図書、及び一般図書の選定協議が行われ、8月15日に採択協議結果が各市町村に通知されたところでございます。 それでは、議案第37号をご覧ください。 まず、「議案第37号 令和7年度に使用する小学校用教科用図書の採択について」ですが、こちらは令和5年第8回臨時教育委員会で採択していただき、現在使用しております、2ページに記載の教科用図書を、令和7年度においても使用することについて、ご承認いただくものでございます。 次に、あらためて議案第38号をご覧ください。 「議案第38号 令和7年度に使用する中学校用教科用図書の採択について」ですが、只今ご説明した今年度の協議を経て、令和6年8月2日に協議会において選定された教科用図書が、2ページの「令和7年度に使用する中学校用教科用図書一覧」に記載されております。 なお、これら中学校用教科用図書の選定理由につきましては、3ページから18ページにあります、「令和7年度に使用する中学校用教科用図書の選定教科書名及び選定理由等について」のとおりでございます。 次に、議案第39号をご覧ください。 「議案第39号 令和7年度に使用する小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について」ですが、小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、学校教育法附則第9条により、文部科学省検定済教科書、及び文部科学省著作教科書以外の図書を使用することもできるとされておりますことから、別冊としてお配りしております、北海道教育委員会が作成した、「令和7年度使用小・中学部を置く特別支援学校及び小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）採択参考資料」に登載されている333点の一般図書を採択しようとするものです。 なお、この一般図書につきましては、北海道教育委員会から示された参考資料について、第1地区教科用図書採択教育委員会協議会が調査研究を行い、協議の結果、教科書としての使用を承認したことについて、各市町村教育委員会に対して通知されております。 以上、3件の議案についてご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。
黒川教育長	ただいま説明のありました3件の議案に対する質問等がございましたら、一括してお受けいたします。 （質疑なし） 特にございませんか。 それでは、令和6年議案第37号から議案第39号までについて、承認することにご異議ありませんか。 （一同了承） それでは、そのように承認いたします。
松井スポーツ課長	次に、審議事項（4）令和6年議案第40号 江別市スポーツ推進審議会委員の補欠委員の委嘱についての説明を求めます。 松井スポーツ課長をお願いします。 議案第40号 江別市スポーツ推進審議会委員の補欠委員の委嘱についてご説明いたします。 江別市スポーツ推進審議会委員につきましては、江別市スポーツ推進審議会条例第3条の規定に基づき、11名の委員を委嘱しております。 スポーツ推進審議会委員は、令和5年6月1日から2年間の任期で委嘱しておりますが、江別市中学校体育連盟の会長変更によりまして欠員が生じたことから、補欠委員について選考を進めておりましたところ、1の補欠委員候補者に記載のとおり、学識経験を有

黒川教育長	する者として推薦を受けた、江別第二中学校校長の水崎理さんを新たに委嘱するものであります。 2の補欠委員の任期につきましては、前任者の残任期間とし、承認いただく本日から令和7年5月31日までの期間であります。 3の委員名簿につきましては、新委員を含めた委員の名簿を次頁に記載しております。以上、ご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。 ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けいたします。 (質疑なし) それでは、令和6年議案第40号 江別市スポーツ推進審議会委員の補欠委員の委嘱についてを承認することにご異議ありませんか。 (一同了承) それでは、そのように承認いたします。 続いて、3のその他に入ります。 次回教育委員会予定案件及び日程について、説明を求めます。 山崎総務課長お願いします。
山崎総務課長	次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、令和6年第3回江別市議会定例会の一般質問について、令和6年度小中学生国内交流研修事業についてを予定しております。 また、次回の定例教育委員会の日程でございますが、9月26日木曜日午後2時30分からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。
黒川教育長	ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は、9月26日木曜日午後2時30分からということで、皆様よろしいですか。 (一同了承) 以上をもちまして、第8回定例教育委員会を終了いたします。 (閉会)

終了 午後2時43分

署名人（教育長） 黒川 淳司

署 名 人 新館 忠義